

無償資金協力「第二次地雷除去活動強化計画」完了及び 同「第三次地雷除去活動強化計画」開始式典の開催

11月24日（木）、バットンバン州バナン郡に於いて、我が国の無償資金協力（以下「第二次事業」という）によって実施された地雷除去活動の完了、及び新たな無償資金協力（以下「第三次事業」という）による地雷除去活動の開始式典が行われ、当館から堀之内大使が出席しました。

第二次事業では、カンボジア地雷除去センター（CMAC）の地雷除去活動を支援し、約 5,600ヘクタールの土地の安全が確保された上、地雷除去後の土地を対象に農道や農業用施設など農業インフラの整備や農業技術支援も行うなど、農村開発支援も行いました。

第三次事業では、過去に供与した地雷除去機の更新も支援することにより、CMACによる約 7,000ヘクタールにも及ぶ地雷除去活動の加速化・効率化を図るとともに、農村開発支援も行うことで、地雷が多く残るバットンバン州4郡（バベル、バナン、ラタナックモンドル、サムロー）の住民約21万人の生活や営農活動の安全が確保されることが期待されます。

本式典には、ソー・ケン副首相兼内務大臣、セレイ・コソル上級大臣兼カンボジア地雷対策犠牲者支援機構（CMAA）第一副委員長、ヘン・ラタナCMAC所長、チャン・ソパール・バットンバン州知事、安達JICAカンボジア事務所長の他、約 3,000名の地域住民が参加しました。

式典では、現場で活躍する地雷除去機や地雷探知機等を視察した後、堀之内大使が第二次事業の完了のお祝いと第三次事業の成功を祈念する旨のスピーチを行い、ソー・ケン副首相が日本への感謝の意を述べました。その後、地雷除去が完了した土地の引渡式を行うなど、地雷除去の重要性を再認識する式典となりました。



写真-1 式典に出席した地域住民



写真-2 視察した地雷除去機



写真-3 堀之内大使のスピーチ



写真-4 土地の引渡式